

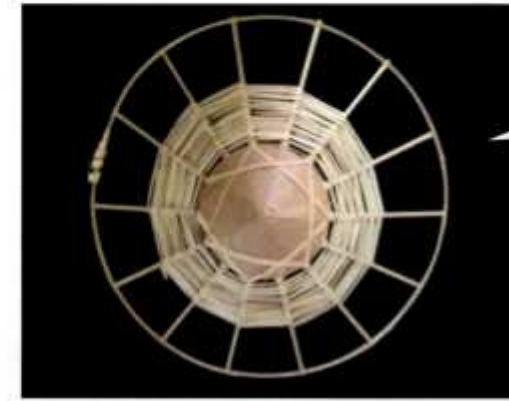
# 深江菅細工保存会

2019. 4. 9



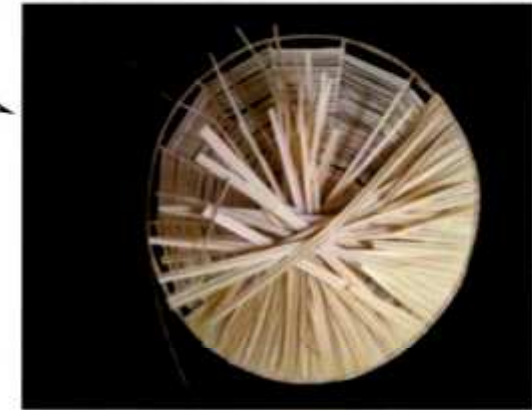
## 深江と菅細工

深江の地は、暗越奈良街道に接する要衝にあり、良質の菅草が豊かに自生する低湿地帯であった。古代、その菅を求めて大和の国の笠縫邑より古代氏族・笠縫氏が深江の地に移住し、菅笠を作るようになったという伝承がある。近世の深江村は幕府の直轄地で、米・木綿・菜種などの作物を栽培するとともに、菅細工が名産として知られていた。街道沿いには菅笠を商う店や茶店が建ち並び、伊勢参りの道中笠を買い求める人々で賑わった。現在、菅細工の技術は深江菅細工保存会によって、受け継がれている。



いつり掛け

菅掛け



笠縫い



仕上げ







摂津名所図会 深江菅笠

原文

大坂のひがし深江の  
菅笠は、上古より  
始まりて「万葉集」  
「延喜式」にも見えたり。  
きさらぎ弥生の頃、  
難波よりの伊勢参り、  
新しき菅笠の旅の  
粧ひ美々しく、長閑  
なる日に戯れつれて  
の旅たちはこよなう  
うれしきものなり。

現代文

大坂の東の深江の  
菅笠は、昔から  
作られており「万葉集」や  
「延喜式」にも記されている。  
2月から3月のころ、  
難波から伊勢参りに  
新しい菅笠を被り旅の  
装いも華やかに美しく、のどか  
な日に遊びながら  
旅に出るのはたいへん  
うれしいものである。



式年遷宮

神宮には内宮にも外宮にもそれぞれ東と西に同じ広さの敷地があり、20年に一度宮地(みやどころ)を改め、古例のままにご社殿やご神宝をはじめ全てを新しくして、大御神に新宮(にいみや)へお遷りいただく神宮最大のお祭りです。式年遷宮の制度は、天武天皇のご発意により始まり、次の持統天皇4年(690年)に第1回目が行われました。長い歴史の中には一時の中断はあったものの、これまで20年に一度、約1300年の長きにわたり繰り返し行われ、平成25年10月には第62回目の式年遷宮が行われました。



## 深江小学校との取り組み



小学3年生

10月

苗植え



小学4年生

7月

菅の刈り取り

小学4年生

11月

菅細工体験

